

株式会社ファミリーマート 御中

インドネシア共和国  
北ジャカルタの学校における防災能力向上プログラム

第1四半期報告書(2015年8月~10月)



2015年11月  
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



## 1. 事業概要

事業名	北ジャカルタの学校における防災能力の向上プログラム(第2期)
対象国・地域	インドネシア共和国 ジャカルタ首都特別州 北ジャカルタ
事業期間	2015年8月1日～2016年7月31日
報告期間	2015年8月1日- 2015年10月31日
予算	7,500,000円
受益者	(予定) 対象校10校の生徒(2,755名)および教員(100名)
事業目的	毎年洪水の被害を受けている北ジャカルタのチリンチン地区において、学校における活動ならびに学校周辺コミュニティとの連携を通じて、子どもたちの自然災害に対する防災適応能力の更なる向上と定着を目指す。

## 2. 事業進捗概要

### 【対象校の選定】

第2期事業が開始された本四半期においては、教育局・イスラム教育局および学校関係者との協議に基づき、事業対象校を選定しました。選定に関しては、各学校ならびに教育局との調整に時間を要し、当初の予定より時間がかかりましたが、災害リスクの高さや学校の防災意識の高さなどを基準として、北ジャカルタのチリンチン地区の下記の小学校が選定されました。

No	学校名	地域名	生徒数	教員数
1	Kampung Sawah 小学校	Semper Timur	301	14
2	Kasih Immanuel 小学校	Semper Timur	129	8
3	Darut Tauhid 小学校	Rorotan	287	8
4	Pantai Indah 小学校	Kalibaru	440	14
5	Al Rahmah 小学校	Semper Timur	420	10
6	Al Ikhwan 小学校	Marunda	160	10
7	Ar-Ridho 小学校	Sukapura	342	10
8	Ar-Ruhaniyah 小学校	Rorotan	292	8
9	Al Barkah 小学校	Kalibaru	256	10
10	Ash-Shiddiqin 小学校	Kalibaru	128	8
合計			2,755	100

### 【安全な学校づくり会議への支援と参加】

またインドネシアでは、「仙台防災枠組 2015-2030」<sup>1</sup>にそって、9月29日・30日に政府・

<sup>1</sup> 「仙台防災枠組 2015-2030」は、2015年3月に仙台で開催された、第3回国連防災世界会議の成果文書として発表された国際的な防災指針文書です。

支援団体共催の「安全な学校づくり会議」が催されました。セーブ・ザ・チルドレンはこの会議を支援し、広報資料の印刷を含む周知・啓発にも協力しました。それに加え、同イベントには本事業対象校4校からの児童14名も積極的に参加し、Pantai Indah 小学校の生徒がファーストエイドのデモンストレーションが行った他、Al Barkah 小学校、Ash-Shiddiqin 小学校、Al Rahmah 小学校の生徒が学校安全クイズ大会の部に出場しました。なお、このクイズ大会では Ash-Shiddiqin 小学校の生徒たちが、ジャカルタ地域50の参加校の中で4位に入賞しました。

### 3. 今後の活動予定（★ FamilyMart 様の参加が可能な活動）

次四半期には「ライフスキル能力向上」訓練をはじめ、フィールドでの活動実施を本格的に展開していく予定です。

活動内容	2015年		2016年						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
災害対策にかか る「ライフスキル能 力向上」訓練		✓	✓			✓	✓		
地方政府や学校と のコーディネーショ ン			✓			✓	✓		
避難訓練の実施 (「ライフスキル能 力向上」訓練の実践を 含む)				★ ✓		✓	✓		
広報資料等の作成		✓			✓	✓			
成功事例の共有と 文書化		✓	✓	✓	✓	✓	✓		
完了報告書の作成								✓	✓

※ 6月初旬よりイスラム暦の断食月(ラマダン)に入るため、6月および7月のスケジュールに余裕を持たせてあります。

#### 4. 活動写真



対象校選定ワークショップの様子



学校安全クイズ大会の決勝戦に挑む裨益校生徒



クイズ大会で4位に入賞した生徒たち



入賞者たちの記念撮影の様子